

## 7万人が来場、「ホビーの祭典」に自衛隊の最新鋭装甲車が登場



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、5月13日（土）と14日（日）の2日間、ツインメッセ静岡（静岡市）において行われた「第56回静岡ホビーショー」で、陸上自衛隊富士学校（小山町）、東部方面輸送隊（東京都）、第34普通科連隊（御殿場市）及び海上自衛隊横須賀地方総監部（神奈川県）の支援を受け、広報活動を行った。

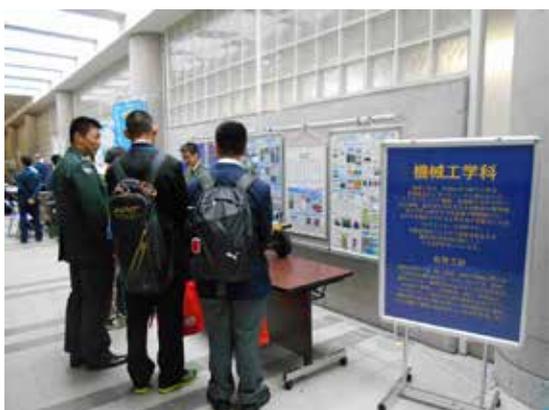
これは、全国有数のプラモデルメーカーが多く集結している模型の世界首都静岡で行われる「ホビーの祭典」で、70社以上の企業や模型愛好家が出展し、全国から7万人を超える来場者が集う一大イベント。

今回は陸上自衛隊が「統合機動防衛力の黒柱」とされる最新鋭装甲車「16式機動戦闘車」を県内の民間イベントで初展示したこともあり、自衛隊コーナーは過去最高の人出で賑わった。会場入り口には大注目の16式機動戦闘車や軽装甲機動車等の自衛隊車両が並び、子供用迷彩服や制服の試着体験を楽しむ多くの親子連れやミリタリーファンの姿が見られた。

また、隣接した展示室では海上自衛隊が任務の説明や艦艇模型・南極の氷等の展示を行うとともに、静岡地本が制度説明コーナーを開設した。このイベントには自衛隊志願を考えている若者も多く訪れ、「自衛官になるためにやっておくべきことはあるか」「予備自衛官補はどのような訓練を受けるのか」といった具体的な質問があり、自衛隊に対する関心の高さがうかがえた。

静岡地本は、今後も県内外から関心を集める大きなイベントの機会を効果的に活用し、より多くの方に自衛隊に触れてもらい理解促進を図るとともに、入隊意思のある志の高い人材確保に努めていく。

## 「防衛大学校オープンキャンパス」に高校生が参加



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、5月14日（日）、防衛大学校（神奈川県）において開催された「平成29年度オープンキャンパス」に参加した。

このオープンキャンパスは、防衛大学校の受験を希望する生徒やその保護者等を対象に、同校の教育や訓練、学生生活、入試制度及び卒業後の進路等について説明し、同校の魅力を理解してもらうことを目的に行われている。静岡地本からは、生徒及び保護者合わせて35人が参加した。

記念講堂で学校の概要説明が行われた後、学生舎や教室、実験室等の施設見学、防衛大学生との懇談、模擬授業やパレード訓練の見学等が行われた。現役学生との質疑応答では「学生生活は楽しいか」「部活動やサークルにはどんな種類があるか」「身体検査の注意事項について」「試験倍率はどうくらいか」等多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さが伺われた。

静岡地本は、今後もこのような自衛隊の学校や現場を直接見学出来る機会を活用して、防衛大学校等に対する理解を深めてもらうとともに、自衛隊の魅力や任務の重要性についてPRし、幹部自衛官を目指す若い志願者の獲得に努めていく。